



# がいぎかい

令和2年4月25日発行  
★議会活動をわかりやすくお伝えします



## 今月の見どころ

【特集】輝く仲間たち	2ページ
令和2年 第1回定例会	4ページ
当初予算関係	6ページ
ここが聞きたい 一般質問	9ページ
市民と議会の対話集会	14ページ



# 特集 輝く仲間たち (第1回)

毎回、市内でがんばる方々に登場していただきます。  
今回は、「梨北農業協同組合白ねぎ部会」です。

## おいしさを詰め込んだ 「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」

### 「甲斐のぎゅぎゅつとねぎ」とは

甲斐市双葉地区で生産しており、品種は「夏扇(なつおおぎ)」、土壌が固めで、おいしさをぎゅつと閉じ込めると言う意味で名前を付けました。

ねぎは鮮度が一番で、収穫後、中2日に出荷しており、出荷量も年々増加しており、県内の一部スーパーや「双葉農の駅」で販売しています。

また、10月末には農業まつりで「試食販売」や「ねぎ掘り体験」などを予定しています。耕作地には、のぼり旗をたてPRしています。

### 白ねぎ栽培のきっかけは

**原田** 5年前に2人でスタートしました。

当時県内では、県産ねぎの出荷がほぼゼロに近い状態でした。

ねぎ栽培を行うことにより、耕作放棄地の解消や、また、機械化により手間が余りかからず、人手不足も解消できます。会員数も年々増え、現在は18名で、今後は観光事業にも役立てたいと思います。

**小林** ねぎは、年2回の収穫になりますが、品種により試験栽培をして一年中収穫できるように努めています。

管理は、種まき、消毒、除草でほぼ機械化しています。

土壌も、埼玉県の深谷ねぎとほぼ同じで適しています。



◀ 県の助成制度を利用し、昨年導入した選別機「チョイスアー」でサイズ分けして出荷しています。



左から、田中信太郎さん、原田勝由さん、小林敏夫さん、花田弘樹さん、飯室智陽さん、岡崎 匠さん

**飯室** 今年から出荷しています。  
現在一人でやっており、農作時間が限られるが良い品質でおいしい白ねぎを目標にがんばっています。

**花田** 最近、人手不足により、土地を手放す人が多いようです。

白ねぎは他の野菜に比べて収益が高く、一年中需要があり、また、一年中収穫できる品種もある。

私が成功すれば、若い人も注目すると思い、今年から始めました。

**田中** 甲斐市地域おこし協力隊として、平成31年4月に任用され神奈川県から引越してきました。

元々、農業が好きでこのまま山梨県に住みたいと思っています。地元の方と協力して白ねぎの一大産地となるようがんばっていきたくです。

**岡崎** 私も甲斐市地域おこし協力隊として、平成29年4月に任用されました。

畑を借りてさつまいも(黄金千貫)、また、昨年からは白ねぎを出荷しています。方言にも馴れ、あとは自分の努力次第と思っています。

### 市や議会に望むことは

**原田** 将来的には、さらに出荷量を増やし、いずれはふるさと応援寄附金の返礼品に加えてもらいたい。

また、冬季のねぎの育苗施設として、バイオマス発電の廃熱を温室に利用したい。

### 今後の展望は

さらに耕作面積を拡げ、10年後には県内ねぎのシェアを70%にもっていきたく。また、ブランドとしても確立していきたく。

# 令和2年 第1回定例会

## 定例会の あらまし

令和2年第1回定例会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。今定例会では、市長からの施政方針、当初予算、条例改正および補正予算などの議案が提出され、審議の結果、全て原案どおり可決されました。また、14人の議員から一般質問が行われました。定例会の様子は、議会ホームページで録画映像を配信していますので、ぜひご視聴ください。

## 施政 方針

## 令和2年度 市長施政方針 第2次甲斐市総合計画後期基本計画がスタート



今定例会に提出した、令和2年度一般会計当初予算などの主な施策の概要を、説明するとともに、所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をいただきたいと思う。

4月から、第2次甲斐市総合計画後期基本計画がスタートする。計画の策定にあたり実施したアンケート調査において、9割近い回答者から「暮らしやすい」と評価をいただき、特に転出した方からの評価が高いことが示された。

こうした状況をかながみ、今まで掲げてきた将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」を継承しつつ、「まちづくりは人づくり生涯にわたる学びのまち」、「健やかで心ふれあう安心に暮らせるまち」、「美しい景観と快適で安全な都市機能を築くまち」、

「自然と生活が調和した環境を築くまち」、「交流と協働による未来を拓く活力のあふれるまち」の5つの基本目標を引き継ぐことで、各施策を発展的に見直し一層の充実を図る内容としており、今後も、施策の展開と検証を着実に進め、更なる市政発展のため尽力していく。

令和2年度の予算編成については、政策課題の着実な推進と、健全財政の堅持を基本に「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、施策の選択と集中を図ったところである。

予算総額は、一般会計、268億8千万円、特別会計、125億4千918万9千円、公営企業会計、47億1千718万6千円、総額は、441億4千637万5千円である。

第1回定例会では、条例の一部改正について審議を行いました。その中で、主なものをピックアップしてお知らせします。詳しい内容は、こちらをご覧ください▶



## 印鑑登録証明書から男女の記載欄がなくなりました

**条例** 甲斐市印鑑条例の一部改正の件を可決

**条例改正の内容** 性的少数者への配慮のため印鑑登録証明書の性別記載を削除及び成年被後見人等の適正化等を図ることに伴い、所要の改正を行うもの。

### 主な質疑

**Q** 意思能力が無い者の登録は、誰が代理人になるのか。

**A** 「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」に表記を改めるもので、成年後見人が代理人となる。

### その他、今定例会で可決された条例

●甲斐市固定資産評価審査委員会条例の一部改正の件／●甲斐市職員給与条例の一部改正の件／●甲斐市職員等の旅費に関する条例の一部改正の件／●甲斐市手数料条例の一部改正の件／●甲斐市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正の件／●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定の件／●甲斐市職員の育児休業等に関する条例の一部改正の件／●甲斐市恩賜県有財産保護財産区管理条例の一部改正の件／●甲斐市歴史民俗資料館条例の一部改正の件／●甲斐市営住宅条例の一部改正の件

### 請願結果

件名	提出者	紹介議員	議決結果
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書	山梨県医療労働組合 連合会 執行委員長 佐藤 均	松井 豊	不採択
看護師の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	山梨県医療労働組合 連合会 執行委員会 佐藤 均	松井 豊	不採択
介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設を求める請願	山梨県医療労働組合 連合会 執行委員会 佐藤 均	松井 豊	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	山梨県労働組合総連合 議長 上野 光正	谷口 和男	不採択

**人事** 退職・辞職(令和2年3月31日)に伴い、次の方々の選任・任命に同意しました。

案件	氏名	議決結果
副市長の選任の件	関口 龍海	同意
教育長の任命の件	宮坂 雄次郎	同意

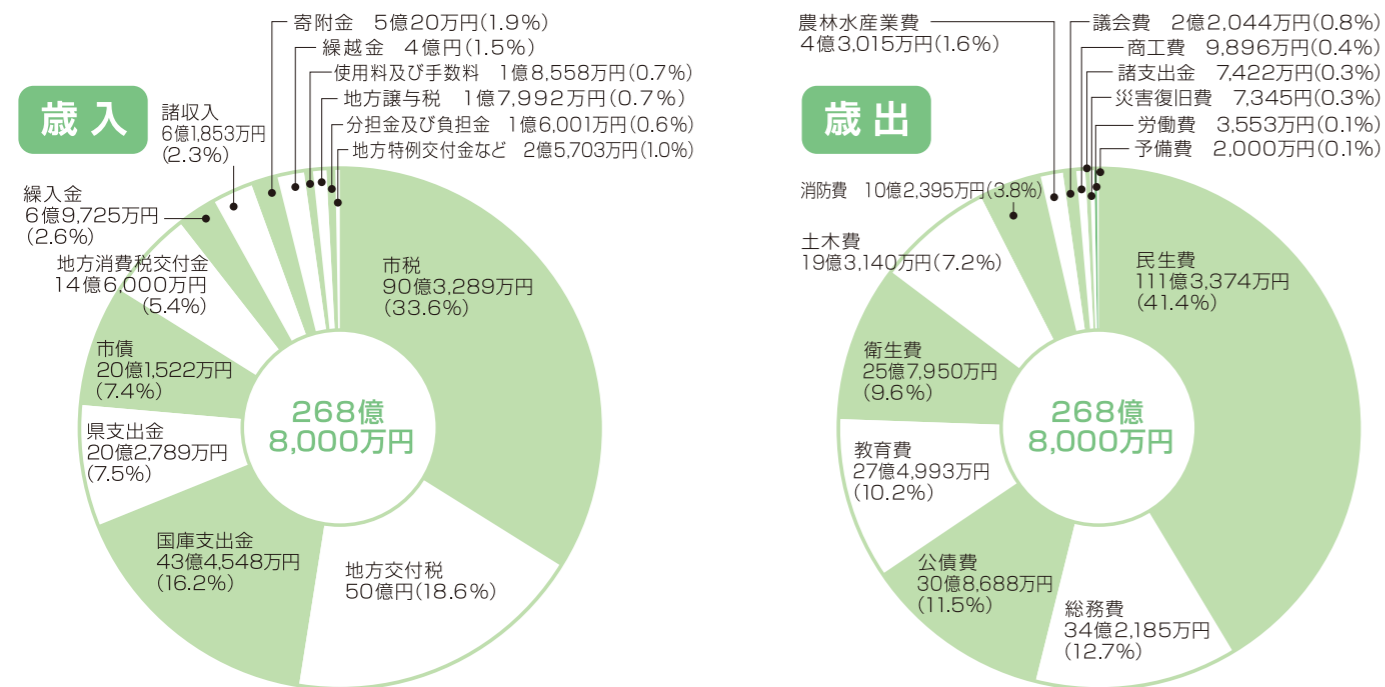
### 恩賜県有財産保護財産区管理条例委員

任期満了(令和2年3月31日)に伴い、次の方々の選任に同意しました。

- 平見城恩賜林保護財産区管理条例  
●岡田輝雄(下芦沢) ●岡田寅夫(下芦沢) ●長田初雄(本村) ●菅本嘉朝(神戸) ●長田正二(安寺) ●山本満直(獅子平)
- 芦の沢外15山恩賜林保護財産区管理条例  
●山本三男(中島) ●高橋文夫(窪田) ●末木伸夫(寺平) ●長沼詔三(中島) ●飯沼耕司(窪田) ●石橋太郎(寺平) ●長田良二(千田)
- 雨沢山恩賜林保護財産区管理条例  
●山本詔八(寺平) ●小田切和通(窪田) ●山本修(寺平) ●田中嘉信(牛匂) ●長坂正時(境南) ●窪田喜年(久保) ●保延公勝(中村)

# 一般会計当初予算 市制施行以来 最大規模268億8,000万円を可決

令和2年度一般会計当初予算は、予算審査特別委員会で審査後、討論の末、可決となりました。(P7に関連記事)



## 令和2年度 当初予算会計別予算額

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減額	増減率(%)	
一般会計	268億8,000万円	259億1,400万円	9億6,600万円	3.7	
特別会計	国民健康保険特別会計	68億7,201万円	71億7,936万円	△3億735万円	△4.3
	後期高齢者医療特別会計	8億5,396万円	7億7,358万円	8,038万円	10.4
	介護保険特別会計	47億5,120万円	48億3,890万円	△8,770万円	△1.8
	介護サービス特別会計	1,247万円	1,239万円	8万円	0.6
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	93万円	93万円	0円	0.0
	簡易水道事業特別会計	—	9,186万円	△9,186万円	皆減
	地域し尿処理施設特別会計	1,829万円	1,471万円	358万円	24.3
	農業集落排水事業特別会計	1,365万円	1,823万円	△458万円	△25.1
	下水道事業特別会計	—	23億2,167万円	△23億2,167万円	皆減
	合併浄化槽事業特別会計	2,669万円	2,159万円	510万円	23.6
水道事業会計	13億708万円	11億924万円	1億9,784万円	17.8	
簡易水道事業会計	1億6,238万円	—	1億6,238万円	皆増	
下水道事業会計	32億4,772万円	—	32億4,772万円	皆増	
総合計	441億4,638万円	422億9,646万円	18億4,992万円	4.4	

※簡易水道事業特別会計および下水道事業特別会計については、本年度より公営企業会計の適用となります。

# どう使う？ 新年度予算

当初予算審査は、委員21人による予算審査特別委員会(委員長 小澤 重則議員、副委員長 保坂 芳子議員)を設置し、3月12日から18日までの延べ5日間、審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

### これからのまちづくり

- 山梨県緑化センター跡地活用事業 ..... 5億8,767万円
- バイオマス産業都市推進事業 ..... 2億8,215万円
- 新町本線道路改良事業 ..... 6,097万円
- 道路維持改良事業・河川維持事業 (市道・水路小改良・小補修工事等) ..... 8,529万円 ※

※決算審査特別委員会の要望により、昨年度より増額されました。

### 子育て・教育

- 竜王北中学校屋内運動場屋根改修工事 ..... 2,919万円
- 市単独学校教育支援員等配置事業 ..... 1億2,464万円
- 遠距離通学定期券購入補助事業 ..... 551万円
- 母子保健事業 (一般不妊治療費助成事業等) ..... 1億2,305万円

### 防災対策

- 防災無線施設維持管理費 ..... 3,633万円
- 災害対策整備事業 (非常用備蓄食料、避難所用備品等) ..... 1,666万円 ※

※決算審査特別委員会の要望により、昨年度より増額されました。



## 一般会計当初予算について討論がありました

### 賛成討論

**伊藤 毅 議員**

増加する社会保障経費への柔軟な対応、緑化センター跡地を活用した「フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業」や甲斐市バイオマス産業都市構想の実現に向けた事業など、将来の市民生活の安定・発展のまちづくりにつながる予算であると高く評価できます。

総じて、令和2年度の一般会計当初予算は、政策課題の着実な推進と健全財政の堅持を基本に、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現と「創甲斐教育」の推進に向け、創意工夫のある予算であると判断するとともに、多様化する市民ニーズに応え、より一層、質の高い効果的・効率的な行政サービスの提供に努めるよう期待し、賛成討論とします。

### 反対討論

**松井 豊 議員**

普通会計の主要指標は概ね良好である。しかし、歳入では、消費税納税分150億円に対し交付金が14億6千万円しかなく、サテライト双葉の公営賭博売上金の納入は納得できない。

歳出では、行政サービスの根幹をなす正規職員の人件費は県内最下位クラスであり、人数は、南アルプス市、笛吹市より約100人少ない。また、緑化センター跡地活用事業5億8,700万の内訳の算出根拠が明確になっておらず、市民の意見を聴取して、市民目線で見直すべきこと。さらに、学校給食費が一人当たり年間2,200円の値上がり感が盛り込まれており、高校生までの医療費窓口無料化の進行も不十分である。

# 委員会レポート・補正予算 令和2年 第1回臨時会

## 総務教育常任委員会

- 条例** 甲斐市歴史民俗資料館条例の一部改正の件
- 概要** 竜王歴史民俗資料館を今年度末に閉館することに伴い、所要の改正をするもの
- Q** 収藏品や資料の移転先は。また、収藏品の点数は。
- A** 現在、185点収蔵しており、一時的な移転先は自然休養村管理センターを予定している。



竜王歴史民俗資料館(山縣神社境内)

## 厚生環境常任委員会

- 補正** 甲斐市プレミアム付商品券事業 1億7,070万円減額
- 概要** 申請期間終了における事業費等の減額。
- Q** 対象者、購入人数、販売冊数は。
- A** 非課税者・子育て世帯併せ、12,999人。購入者は、4,505人で、合計22,242冊を販売した。  
※1冊5,000円分



## 建設経済常任委員会

- 条例** 甲斐市営住宅条例の一部改正の件
- 概要** 民法の一部を改正する法律が、令和2年4月1日に施行されることに伴い、所要の改正をするもの
- Q** 連帯保証人の条件が変更になったが、入居条件も変更されたのか。
- A** 条件に変更はないが、市外から市内に勤務している方は、市内の連帯保証人の確保が難しいため、条件を緩和し県内とした。

## 補正予算

**令和元年度 甲斐市一般会計補正予算(第7号)**  
福祉関係(社会的弱者)のための寄附(500万円)があり、福祉避難所(保健福祉センター3か所)に福祉避難所用物置の設置工事及び避難備品の購入。他、こども医療費助成金の決算見込みにより関係経費等、3,963万円の増額

**令和元年度 甲斐市一般会計補正予算(第8号)**  
市内各保育園に対し、新型コロナウイルス感染症対策の備品購入経費に対する補助金。他、国の施策であるGIGA(ギガ)スクール構想に係る関係経費等、2億5,126万円の増額  
※GIGAスクール構想とは、高速大容量の通信ネットワークと、児童生徒1人1台パソコンの一体的整備事業

## 令和2年第1回臨時会

### 臨時会のあらまし

令和2年第1回臨時会は、2月3日に1日間の会期で行われました。市長から一般会計補正の件の議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決しました。

**令和元年度 甲斐市一般会計補正予算(第6号)**  
ふるさと応援寄附金の増収見込みにより、関係経費1億4,585万円の増額

### 甲斐市ふるさと応援寄附金年度別一覧

年度	件数	寄附金額
平成28年度	7,387件	1億4,535万円
平成29年度	11,333件	2億1,413万円
平成30年度	24,207件	4億3,223万円

# 一般質問



第1回定例会では14人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。  
なお、議会ホームページで、一般質問の録画映像を配信していますのでご覧ください。

録画映像のQRコードはこちら



甲斐市議会 議会中継

一般質問の詳細な内容については各議員のQRコードからご覧いただけます。



## 防災行政無線について

**Q** 近年、各地で想定を超える大災害が発生している。幸い甲斐市では人命に関わる被害は受けていないが、甲斐市を取り巻く状況は多くの活断層に囲まれ、予断を許さない状態であり、防災行政無線は命を継ぐ重要な手段となるため、防災行政無線の難聴地域の解消に向けた取り組みについて伺う。

**A** 各自治会から「放送内容が聞きづらい」との指摘を受け現地調査を行い、スピーカーの調整・増設など改善対応を行っており、山間部の特に聞きづらい地域には個別受信機を貸与している。また、放送内容を電話で確認できる「防災行政無線テレホンサービス」や携帯電話などのメールで確認できる方法を広く周知している。

**Q** 根本的な難聴地域の解消策について伺う。  
**A** 現在、竜王庁舎にある親局より再送信局を通じ190カ

所の子局に送信しており電波の特性により、山や建物などの反射により「マルチパス」という現象が発生し、電波が届かない不具合が生じており、こうした状況を解消するため本年度より再送信局を新たに設置し、出力の調整を講じることに伴い放送環境の改善に努めていく。



### その他質問項目

- 消防団の無線について
- 消防団活動について
- 指定避難所について



## まち・ひと・しごと創生 総合戦略について

**Q** 産業振興について、地元小規模事業者の大きな課題に人材の育成、人材の確保を考えるがいかがか。

**A** 今後、創設を進める持続化補助金の、対象事業の中に「人材確保・育成支援」を含め支援して参る。

**Q** 教育について、県が進める25人学級は今後、重要な要素と考えるがいかがか。

**A** 一人ひとりの児童へのきめ細かな指導が可能となり、学力の定着と向上、情緒面の安定など、効果は大きいと考える、具体的な調査・研究を進めている。

**Q** 教育について、本市に普通科のある高校が少ないと考えるがいかがか。

**A** 本市は、公立の農林高校と私立の日本航空高校がある。隣接市町には、普通科の公立高校は8校あり、本市の中学生の多くが進学している。今後、公立高校の再編等が計画されるような場合には、県教育委員会と連携を図る。

**Q** まちづくりについて、釜スポ、新やはた公園、そして信玄堤までの公園を利用して、クィーンビーズのプロバスケット選手、プロ野球選手、プロサッカー選手等招待して、スポーツによる賑わいの創出の取組はいかがか。

**A** トップスポーツ選手との交流や競技指導は、市民にとって刺激や意識改革につながり、地域活性化を促進すると考える。検討して参る。



### その他質問項目

- 小規模事業者持続化補助金について
- 後継者塾創設について
- 「中一ギャップ」、「全員担任制」について
- 地域の学校体育館の利用について





## 幼児教育無償化導入を受けて

加藤 敬徳

昨年10月、幼児教育無償化がスタートした。利用者の声として取り組んで欲しい政策に、「保育の質の向上」が多く、一方、公立・私立幼稚園・保育園・認定こども園などを運営する事業者の声は、「人材の育成・確保への支援」が多かった。

Q 無償化により、幼稚園・保育園の利用希望する子供が増えることが懸念されていたが、変化はあるか。

A 本市の入園希望者は、平成31年度は受け入れ枠513人のところ499人で、無償化後の令和2年度においても484人の受け入れ枠に対し466人で、いずれも受け入れ枠内であった。年齢別では、平成31年度は1歳児、令和2年度は2歳児が受け入れ枠を超える希望者があったが、保育室等の調整を行ったことで待機児童はいない状態となった。本市では無償化に伴う入園希望者の大幅な変化は見られなかった。

Q 各施設では適正な保育士・職員の確保はできているか。

A 各施設における保育士数は、国が定めた基準を基に配置されるものとなっており、本市では、公立・私立保育園は全て、毎年実施される県の指導監査においても、適正な配置と判断されており、園児数に対する、保育士数の基準を満たしている状況である。



### その他質問項目

- 高齢者の交通事故を防ぐために



## 災害時における「ごみ処理」などの対応は

秋山 照雄

Q 甲斐市では、地震の場合と水害の場合では、災害廃棄物の量をどの程度と推定しているか。

A 本市地域防災計画では、県が公表している地震による被害想定建物被害棟数により、地震の場合の災害廃棄物は、被害棟数805棟に対し、約21,449tと推計しているが、水害に対する推定量の算定は行っておらず、地震対応に準拠した対策としている。

Q 災害が発生した際のごみの仮置場の計画については。

A 本市の災害廃棄物の仮置場は、西八幡管理地、敷島総合公園駐車場、双葉水辺公園駐車場の3か所を計画しているが、このうち2か所は浸水エリア内に位置していることから、今後、水害を想定した災害廃棄物処理計画の策定に向け検討する。

Q 災害が起きた場合に、現在の中巨摩地区広域事務組合及び峡北広域行政事務組合のごみ処理施設で対応が可能なのか。

A 災害廃棄物の処理は、構成市町の搬入量を考慮し対応するが、両施設が被災した場合は、構成市町とともに対応を図っていく。

Q 災害廃棄物の運搬に対する災害協定を結んでいるか。

A 現在、廃棄物収集運搬業者との災害協定は締結していないが、有事の際に、早急な対応がとれる体制を整えたいと考えている。



### その他質問項目

- 下水道事業等の公営企業会計移行について



## 「1人1台パソコン」の整備について

保坂 芳子

Q 現在の甲斐市立小中学校の、ICT環境の整備状況を伺う。

A 各小学校には、パソコン教室にタブレット型端末40台。各中学校には、パソコン教室にノート型パソコン40台とタブレット型端末6台を設置し、インターネットを利用できる環境整備をしている。タブレット型端末は、各教室に持ち出し、無線LANを活用しインターネットに接続が可能である。

Q 国は、1人1台パソコンで人材投資GIGAスクール構想を実現する予定だが、具体的にどのような能力が伸びるのか。

A 1人1台パソコンと校内通信ネットワークを一体化に整備することで、児童生徒がインターネット使用の機会が増え、様々な情報の取捨選択や組み合わせを行い、情報活用能力や課題解決能力が伸びていくと考えている。

Q 具体的な整備計画は。

A 校内ネットワークは令和2年度、1人1台パソコンは、令和2年度に小学5年～中学1年生。令和3年度に中学2・3年生。令和4年度に小学3・4年生。令和5年度に小学1・2年生を整備予定。整備することで、プレゼンテーションや表現力の向上も期待できる。



### その他質問項目

- 緑化センター跡地に「防災公園」を
- 聴覚障がい者に「NET119」の支援を
- 「がん教育」を小中学校で実施を



## 様々な災害に対する本市の危機管理体制について

滝川 美幸

Q 多種多様な障がいをもつ方への支援体制は。

A 身体、知的、精神に障がいがあり、災害時にご自身で避難することが困難で、特に必要を要する方については、避難行動要支援者名簿に記載され、地域の民生委員や自治会長、消防団などの関係機関に情報提供をしている。

Q 市内在住の日本語の不自由な外国籍の方への支援体制は。

A 日本語の理解不足により、災害時に自力での対応が困難と想定し4か国語に翻訳された市ウェブサイト情報を配信しているが、今後ハザードマップを更新する際は多言語の外国人向けのマップの作成も考えていく。

Q 台風などの災害予想可能な場合、保育園幼稚園は休園とし、子どもは保護者の責任下に置く措置も必要と考えるが。

A 国では、災害時の保育園等の休園について、今年度中に実態調査を行い、園児保育士の安全確保のための対策に取り組むとしている。

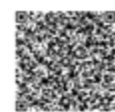
Q 小中学校では実践的な訓練を通し、児童生徒が自ら考え、行動する力の育成に取り組んだとの事だが具体的な内容は。

A 児童生徒や教職員に予告せず実施することで、自己判断で適切かつ迅速に行動が出来るようになる。自分の行動を振り返る場面を設け、課題を見つけ災害時に生かせる考える。



### その他質問項目

- 防災訓練時の要支援者避難行動訓練について
- 障がい者への災害時の情報伝達対応について
- 保育園、幼稚園の災害時の取り組みについて
- 中学校での災害時の生徒引き渡しについて



## 山梨県緑化センター跡地活用事業について

内藤 久歳

Q 現在までの経過を聞く。

A この施設は、閉園まで山梨の緑化推進の拠点施設として役割を担ってきた。跡地利用については民間企業も興味を示すなか、存続を求める声もあることから、既存の樹木や緑の資源を生かし、人が集う賑わいの交流拠点としての整備を検討してきた。その後アイデアの募集を行い、様々な提案を踏まえてPFI導入可能性調査を実施し、事業コンセプトを「フラワーパーク&ミュージアム」とした施設整備及び運営の基本方針や公民連携による財政負担の軽減策などを広報誌に掲載するほか、住民説明会で示してきた。また、議会においては「山梨県緑化センター跡地活用特別委員会」が設置され、事業の具体化と民間事業者の意向把握や事業手法の検討がされてきている。

Q 本事業の理解のため、概要版を全戸配布したらどうか。

A 本事業の正確な情報発信が必要となるため、発行を検討する。

Q 現在までの事業費は。

A PFI導入可能性調査費、事業化支援アドバイザー業務に約2,300万円である。

Q 総事業費と財源内訳は。

A 設計施工と工事管理、15年間の運営維持管理費を含め約38億円を見込み、国庫補助金、合併特別債、ふるさと納税制度の活用など市費の抑制に努める。



### その他質問項目

- 今後の総事業費及び財源内訳について
- 事業に関し市独自の調査研究内容について
- 今後の設計段階での民意の反映方法について
- 事業実施に伴う市財政への影響について



## フラワーパーク&ミュージアムについて

横山 洋介

Q 市長選挙で本事業の信託は受けないのか。

A 市長選挙とは関係ない。

Q 本事業は民間事業者が参加できるようにハードルを下げているだけで、将来像を描ける根拠とはならない。具体的な根拠を示せ。

A 県内外の多くの事業者から興味をいただいていることが根拠である。

Q 本事業の全貌が判明するのは来年1月～3月頃の予定であるが、本契約は今年9月であり、設計・施工・運営が一括契約である。全貌が判明してから、施工・運営の契約をするべきではないのか。

A 事業の契約は審査委員会での審査結果を受け、法令に基づき市議会で議決をした後、本契約を締結する。

Q 常設展のルドゥーテの作品購入について、市の財産として保有することが相応しいか否か、市民に対して説明と同意を得るべきでは。

A 市民の代表からなる議会には説明してきた。

Q 本事業を市民が理解しているという根拠が不明瞭である。

A 市民を代表する市議会において債務負担行為を可決したことが、市民が理解しているという根拠である。

Q 本事業を成功させたいのであれば、一旦立ち止まり市民と意見交換をすべきではないのか。

A いただいた意見や提言などは反映している。今後も情報発信を行い推進していく。



### その他質問項目

- 甲斐市立学校施設長寿命化計画策定について
- 学校施設の建て替えピーク分散化について
- 学校施設の複合化・統廃合の見解について
- 学校施設の複合化・統廃合の進め方について





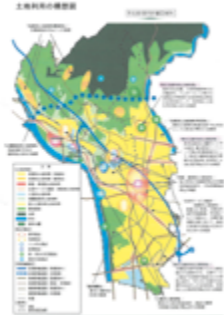
## 新たな都市的土地利用について

Q どのような地域が具体的に想定されているか。

A 甲斐市都市計画マスタープランにおける土地利用の基本的な考え方としては、都市の経営を重視した、均衡と抑制によるバランスの取れた土地に用を推進するとしており、具体的には、竜王南小学校周辺、赤坂台周辺、敷島総合文化会館周辺について、高い利便性を活かした住宅地の形成が新たに見込まれることから、地域計画や用途地域などの適用について検討する地域としている。令和2年度、3年度の2箇年で予定している甲斐市都市計画マスタープランの見直しにおいて、本市の現在の情勢や県の都市計画マスタープランとの整合性も考慮する中で、これらの地域も含め新たな都市的土地利用について検討して参りたいと考えている。

Q 想定する地域の優良農地の取り扱いについて。

A 新たな都市的土地利用の検討については、既存市街地内や隣接地域の農地利用が必要となるが、優良農地は、食料の生産機能や雨水の貯留・浸透機能のほか、ヒートアイランドの緩和や火災の延焼遮断など様々な機能を持つ場所でもある。今後についても、多面的機能が十分発揮されつつ、生産と生活空間の一体性を保てるよう、適正な保全を図って参りたいと思う。



### その他質問項目

- 職員の労務管理について
- 有給、代休、育休が適切に消化されているか
- 残業時間は近年、どのように推移しているか
- 女性職員のキャリア形成について



## 緑化センター跡地活用計画の抜本的見直しを

甲斐市フラワーパーク&ミュージアム計画は、税金で建設・運営し、入場料も高い、集客は少ない、さらに(株)オクノブインターナショナルから絵画購入予定とするなど特定業者への利益誘導の疑いもある。計画の賛否を問う住民投票を実施し、見直しを求める。

Q 甲斐市が絵画購入予定企業の経営者が、参加していた経緯は。

A 計画策定には関与していない。

Q 「美術館運営企業の1者として、話しを伺う機会をえた」と言っていた。なぜ、この方の会社から絵画購入することになったのか。

A 継続してお話を伺う中で、計画に理解を頂き絵画の寄託など協力してもらうことになった。

Q アドバイザリー業務で市民の意見を反映させるとしてきたが、市民が要求した無料パークは1万㎡から4千㎡に減り、市民負担の維持管理費は年間8,900万円から9,967万円に増えている。市民の意見を反映したと言えるのか。

A 隣接地の購入や消費税増税などで若干増えた。

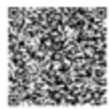
Q 市民から住民投票の運動があるが市長の見解は。

A 計画に賛否の意見があるのは承知している。今後とも丁寧に説明し計画をすすめる。



### その他質問項目

- 希望する保育所に入れるように
- 重度心身障がい者の窓口無料制度の復活を



## ミュージアム事業の債務負担行為について

Q 設計・施設整備費15.35億円の内訳、施設の位置、構造、規模(延床面積)はどのようなものか。

A 本費用については、イニシャルコストを概算で計上したものであり、現在、事業者公募手続きを行っているので、内訳については、現在は、お答えすることができません。

Q 12月議会での債務負担行為(約30億円)は、地方自治法で定める調書(総務省で定める様式)を備えなければならず、説明責任を欠いている。

A 12月議会の「補正予算説明書」に記載し、特別委員会において、担当課より説明している。

Q 南アルプス市の完熟農園の赤字・閉鎖の例もある。集客が見込めず赤字続きの場合でも、15年間管理委託を続けるのか。

A あらかじめ、事業の継続が困難となる具体的な事由を列挙し、事業契約の解約による損害賠償や指定管理者の指定取り消し等を事業契約書により定める。

Q オクタピオ版は、1枚10万円以下と見られる。作品購入費1.5億円(170点)の評価は。正式購入の際の鑑定はどうか。

A 作品購入費については、公民連携の事業費概算金額の算出にあたり仮定した金額であり、購入の際には、専門家による鑑定を想定している。



### その他質問項目

- 市内3温泉の公共施設個別計画について
- 貢川河川内に繁茂するヨシの除草について
- 赤坂台への第一信州往還踏切の拡幅について
- 市内道路・水路の修繕要望への対応について



## 釜無川塩川の整備状況と取水頭首工について

Q 各頭首工の将来について、国・県との協議内容と進捗状況はどうか。

A 橋上堰の頭首工は台風災害により、破損が生じたため、県が災害復旧工事を施工することとしており、令和2年度中の対応になる。高岩頭首工は劣化が激しいため、大規模改修の必要があり、現況調査を行っている。今後の経過をみて協議を進める。

Q 本流に設置されている、取水ゲート等の長期計画はどうか。

A 各取水ゲート等は設備の経年劣化でリスクの増大が懸念されている。市の施設であるため、定期点検を実施しているが、今後、適切な時期に大規模改修に向け、管理更新費用の平準化も視野に入れ、国・県と協議して参りたいと考えている。

Q 釜無川塩川ともに、河床の荒廃状況が激しいが、国の対応の現況について。

A 自然災害の多発により岩石、土砂、流木等が河床に堆積し地形の変化が生じているため、水流に大きな変化が生じています。国・県・市・大学等による治水に関する研究会の立ち上げも提案しており、河川治水について今後も研究して参りたい。



塩川の取水口

### その他質問項目

- 河川のマイクロプラスチック汚染度について
- 県道甲斐中央線の利便性の向上について
- 県道甲府南アルプス線の市への移管について
- 県道田富町敷島線の古村工区の状況について



## 窓口サービス向上の取組について

Q 行政用語、いわゆるお役所言葉を使わず平易な言葉遣いを進める公的窓口が増えている。町田市は高校生が参加した事業において、解りにくいと不満が出たことをきっかけに「伝える日本語推進運動」を展開している。本市では申請や通知の書類、口頭での説明における用語や文について、分かりやすくする検討をしているか。

A 窓口対応では記載例を示し丁寧な説明に心がけ、申請書は必要以上の記載をすることのないよう簡素化を図っている。通知等発送時にはパンフレットを同封し解り易い工夫をしている。

Q 対応が複数の課にまたがったり、違う課に来てしまったり、来庁者を違う課に行かせる時の対応は。

A そのような場合、来庁者には移動させず、担当課の職員が出向いて対応する。手続上行く必要がある場合は職

員が案内する。

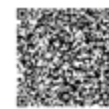
Q スマホで申請方法を調べるなどネット環境充実のため、庁舎へフリーWi-Fi設置が必要では。

A 県内では9市町村が庁舎へフリーWi-Fiを設置している。本市には各図書館に登録制のWi-Fiがあるが、庁舎の設置については、業務におけるWi-Fi利活用など調査研究していく。



### その他質問項目

- 外国人への窓口対応について
- LGBT、性的少数者への配慮について
- 税金などのキャッシュレス化について
- 窓口サービス向上アンケートについて



## 虐待児童通告について

Q 2019年に県内で児童相談所に通告した18歳未満の子どもの内訳は「心理的虐待」が347件、「身体的虐待」が111件、「育児放棄」が45件となっているが、甲斐市の現状は。

A 本市における虐待新規受理件数は61件で、「心理的虐待」が35件、「身体的虐待」が12件、「育児放棄」が14件である。

Q 甲斐市の子どもの安全を守る対策について伺う。

A 本市では、子育て支援課内に家庭児童相談室を設置し、現在4人の家庭相談員が児童への虐待や養育困難な家庭に対する相談・支援等を行っている。また、児童虐待における通告があった場合、子どもの安全確認を第一に考え、保育園、学校、保健師などと連携を図り対応するとともに重篤なケースの場合は、児童相談所に依頼し迅速な対応を行っている。令和2年度から専門知識を備え家庭相談員に指導、助言できる家庭児童相談スーパーバイザーを設置し、早期に発見することや、再発防止に向けた取り組みを強化していく。

Q 子育て支援課と学校(教育部)との連携状況を伺う。

A 学校への定期的な訪問を行い、相談ケースや気になる児童の情報交換を行い、連携を取りながら対応策を講じるとともに、虐待の早期発見や防止に努めている。



山梨県子どものこころサポートプラザ(甲府市)

### その他質問項目

- 耕作放棄地の解消と農業振興について
- 地域包括支援センターについて



# 「第16回 市民と議会の対話集会」を開催しました

2月12日(水) 参加市民 / 52名  
場所 / 竜王北部公民館ホール

**第1部 議会報告会** 甲斐市議会の紹介や二元代表制などについての説明を行いました。

**第2部 意見交換会** テーマ「これからの甲斐市に望むこと」  
市民のみなさまと議員が小グループに分かれて「これからの甲斐市に望むこと」をテーマに意見交換を行い、活発に議論いただき、最後に各グループの代表の議員が、意見を発表しました。

## 各班のご意見

1班

高齢者の地域支え合い事業、リニア開業効果、山梨県緑化センター跡地活用、防災・減災、子育て支援などについて意見が出されました。



2班



バイオマス産業都市構想、有価物回収、防災・減災、老人クラブ、子どもの貧困対策などについて意見が出されました。

3班

高齢者対策、山梨県緑化センター跡地活用、子育て支援、空き家対策、有価物回収などについて意見が出されました。



4班



山梨県緑化センター跡地活用、道路整備、成年後見制度、高齢者対策、子育て支援などについて意見が出されました。

5班

山梨県緑化センター跡地活用、議会基本条例、老人クラブ、リニア開業効果、高齢者福祉などについて意見が出されました。



## 今後の課題

### 福祉

- 高齢者を地域で支え合う仕組みづくり
- 手話言語条例
- 老人クラブへの支援
- 買い物弱者への対策
- 成年後見制度利用促進基本計画の策定
- 愛育会の活動について

### まちづくり

- 山梨県緑化センター跡地活用
- バイオマス産業都市構想
- リニア開業の効果

### 子育て

- 年少児の子育て支援

### 防災対策

- 避難所の現状確認と見直し
- ハザードマップの見直し

### 議会

- 議会基本条例の制定

意見交換会で出された意見は、今後、議会として取り組んでいきます。

※詳しい内容は、こちらをご覧ください▶



# 特別委員会レポート

第1回定例会までに開催された各特別委員会の活動(調査)状況をお知らせします。

## 議会改革特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和元年12月17日、25日・ 令和2年1月27日・ 2月3日、26日	・市民と議会の対話集会について

## 山梨県緑化センター跡地活用特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和2年2月5日	(1) (仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業事業者公募手続きについて (2) (仮称)甲斐市フラワーパーク&ミュージアム整備運営事業審査委員会について

## バイオマス産業都市構想特別委員会

日付	特別委員会の内容
令和2年3月19日	・木質バイオマス発電事業の日立造船(株)における設備認定の取得について(全員協議会で協議)

## 今号からリニューアルしました

市民の皆さまに議会をより理解していただくため、昨年2月から研修や委員会で検討を重ね発行に至りました。

甲斐市発足以来の体裁を一新し、ページ数を減らし、全ページフルカラー化やQRコードの導入も図りました。

また、2・3ページには特集として「輝く仲間たち」を企画しました。甲斐市でがんばる市民や団体の皆さまにスポットライトを当て、苦労話や今後についてお聞きして参ります。

今後とも、内容の充実化を進めるとともに、わかりやすく議会の情報を発信して参りますのでよろしくお願ひします。

議会広報常任委員会



後列 左から 加藤敬徳 委員、谷口和男 委員、小澤重則 委員、山本英俊 委員  
前列 左から 長谷部集 議員(アドバイザー)、五味武彦 委員長、伊藤毅 副委員長、清水正二 議長

## 議会を傍聴してみませんか!

手続きは簡単です。本会議の当日、傍聴人名簿に氏名・住所・年齢を記入していただくだけです。議会を傍聴することは市政を知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

### 令和2年 第2回定例会 の日程(予定)

※日程等に変更がある場合があります。  
※お気軽にお越しください。

※傍聴に際し、手話通訳が必要な方は、福祉課へお申込みください。

TEL.055-278-1691  
FAX.055-276-2113

日	月	火	水	木	金	土
6/14	15	16 本会議(議案上程・一般質問) 10:00~	17 本会議(一般質問) 10:00~	18 本会議(一般質問) 10:00~	19 厚生環境 常任委員会 9:30~ 建設経済 常任委員会 13:30~	20
21	22 総務教育 常任委員会 9:30~	23 委員会 予備日	24 本会議(採決等) 15:00~	25	26	27

\*\*\*引越しのお手伝い致します\*\*\*

## 不用品の買取・回収・販売

★ゴミの片付け・遺品整理も致します。

## リサイクル 登美の坂

甲斐市龍地 88-1 (年中無休)

☎0551-28-6262

出張回収にも伺います!お気軽にお電話ください。

有料  
広告

### 仕事承り中

仕事のご依頼はお気軽に  
お電話でご相談ください

主な仕事内容

- ◆草取り、草刈り、植木の手入れ
- ◆襖・障子・網戸の張り替え
- ◆家事サービス(洗濯、掃除、食事作り、買い物)

### 会員募集中

健康で働く意欲ある、  
60歳以上の市内在住者

公益社団法人 峡中広域シルバー人材センター  
〒400-0115  
山梨県甲斐市篠原 2644-3 ☎055-279-6626

### 議会広報常任委員会

委員長 五味武彦	委員 谷口和男
副委員長 伊藤毅	委員 小澤重則
委員 加藤敬徳	委員 山本英俊

この有料広告に関する掲載基準や申込書などは、市議会HPに掲載しています。(1枠につき1回2万円)  
HPアドレス <http://www.kai-shigikai.jp/>

